

集団健診実施中！

あなたのまわりにまだ健診を受けていない人はいませんか。健診は毎年受けることが大切です。

生活習慣病は発症するまで
自覚症状のないまま進みます。

心筋梗塞や脳梗塞などの生活習慣病は、「ある日突然」起こるよう見えます。しかし、本当はそうではありません。生活習慣病を起こす血管の変化は、自覚症状もなく10年、15年かけてじわじわと進んでいきます。

だから「今は若いから大丈夫、元氣だから関係ない」と思っている人ほど要注意なのです。では、そんな「血管の変化」はどうすればわかるのでしょうか。それには健診（血液検査）しかありません。

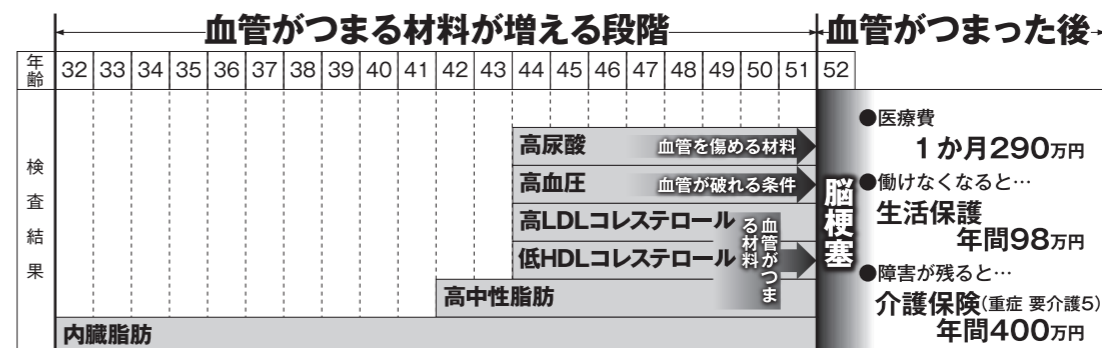
1年に1度、健診を受けることで、あなたのカラダの本当の状態を知ることが出来ます。

また、生活習慣病を減らすことは、家計や保険料、市の財政にも大きく影響してきます。心筋梗塞や脳梗塞、糖尿病などの生活習慣病は重症になると1人で1か月500万円もの医療費がかかる場合があるからです。

そして、何より心筋梗塞や脳梗塞を引き起こすと、あなた、そして家族の生活が一変します。

毎年、健診を受け、その都度少しずつ生活を見直していくことで、家族みんなが健康な人生を送ることが出来るのです。

●52歳で脳梗塞を起こしたAさんの検査結果



Aさんの話

「自覚症状がなかったし、自分は若いから大丈夫という自信があった。結局「症状が出てから病院へ行くのでは遅い」と今はわかる。自分の状態がもっと早く、分かっていたら…。今思うと、自覚症状がないから健診結果が大事だった。自分のような人がこれから出ないように、みんなに伝えて欲しい。



平成22年度特定健診の結果 — 有所見者数とその割合

下図は、田川市民の健康状態を反映しています。

健診の結果、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者は男性25.3%、女性8.4%、予備群者は男性18.4%、女性9.3%でした。本市では、高血糖、LDLコレステロール、そして高血圧の人が多いという結果が出ています。これらの危険因子は併せ持つことで確実に動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こします。

「肥満・高血糖・高血圧・高脂血」の4つの危険因子を全く持っていない人の発症率を1としたとき、危険因子を1つだけ持った人は約5倍、さらに3つ以上になると36倍も心筋梗塞や脳梗塞になる確率が高くなります。

	摂取エネルギーの過剰に関する項目									
	腹囲(男性85cm以上、女性90cm以上)		BMI 25以上(肥満)		中性脂肪(150以上)		ALT(GPT) 31以上		HDLコレステロール(40未満)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
男性	333人	52.5%	194人	30.6%	167人	26.3%	123人	19.4%	58人	9.1%
女性	246人	22.5%	214人	19.6%	148人	13.5%	71人	6.5%	16人	1.5%

※色つきは県平均を超えている項目

	血管を傷つける条件となる項目										その他動脈硬化因子	
	血糖(空腹時血糖が100以上または随時血糖が140以上)		HbA1c(5.2以上)		尿酸(7.0以上)		最高血圧(130以上)		最低血圧(85以上)		LDLコレステロール(120以上)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
男性	247人	40.8%	286人	51.5%	143人	22.6%	282人	44.5%	151人	23.8%	314人	49.5%
女性	272人	25.5%	482人	48.7%	13人	1.2%	367人	33.6%	142人	13.0%	639人	58.5%

特定健診受診率の推移

	対象者	受診者	受診率	福岡県受診率(平均)	県下順位
平成20年度	9,308人	1,205人	12.9%	23.7%	66位 /66市町村
平成21年度	9,157人	1,300人	14.2%	25.4%	60位 /60市町村
平成22年度	8,415人	1,657人	19.7%	26.5%	56位 /60市町村

受診率が低いということは、地域にまだ重症化しやすい人がたくさんいるということです。健診を受け、自分の健康状態を把握しましょう。

田川市の特定健診受診率推移 — まだまだ低い受診率

特定健診は、平成20年度から実施しているメタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診です。本市の受診率は毎年少しずつ向上していますが、平成22年度は福岡県内の60市町村中、56位とまだまだ低い状況です。

●健診内容

健診項目	対象者	田川市国保加入者の料金	田川市国保以外の料金	備考
生活習慣病予防健診 特定健診 身体測定、血圧測定、血液検査、検尿	40～74歳の田川市国民健康保険加入者	無料		高血圧や糖尿病などで治療中の人も受診が必要です。
ヤング健診 身体測定、血圧測定、血液検査、検尿	20～39歳の人	900円	3,000円	
後期高齢者健診 身体測定、血圧測定、血液検査、検尿	後期高齢者医療保険加入者		500円	生活習慣病で治療中の人は、かかりつけ医にご相談ください。

※そのほか、各種がん検診なども実施しています。詳しくは問い合わせください。

※年齢は平成25年3月31日時点の年齢です。国保加入者は、料金の一部を国保が負担しています。※申し込み後の変更やキャンセルが多くなっています。日程や健診項目を十分確認して、申し込んでください。

事前申し込みが必要です。電話または来所にて申し込みください。

☆印の日は、レディースデーとなり女性のみが受けられます。子宮頸がん、乳がん検診の医師や検査技師など原則的に女性スタッフが対応します。託児の対象年齢は、生後3か月～就学前です。(事前申し込み必要。料金無料)



●健診日と会場

健診日	託児	会場
9月23日(日)		金川小学校
9月24日(月)		
10月 9日(火)	○	
10月22日(月)		
11月 1日(木)	○	
11月 5日(月)		
11月10日(土)		
11月11日(日)		
12月 2日(日)	○	
12月 8日(土)		
12月13日(木)		

保健センター

健診を受けた後は無料健康相談会へ
●無料の各種教室に参加できます。健診を受けた人は、健康相談会に参加することができます。相談会では、健診結果から自分の身体の特徴と生活習慣の関係を理解し、

今後どのように生活習慣改善、治療を行っていくべきなのかなど、みなさんが自分で決めていけるようにサポートを行っています。また、ヨガ教室や健康運動指導士によるボールを使った運動教室、栄養教室などといった無料教室に参加することができます。

健診の受診について

- 健診を受けられる対象者は、田川市に住民票がある人で、平成24年6月から12月までに1人1回です。加入している健康保険や年齢、性別によって受けられる健診項目や料金が異なります。
- 申込順に来場時間を指定します。
- 受けたい健診項目を選んで受けられ、すべてを受けても午前中で終わります。
- 生活保護受給者は、健診の料金は免除されます。健診を受ける際に、田川市の福祉事務所（保護課）が発行する「生活保護受給証明書」を持参ください。
- 国保加入者の特定健診には、「特定健康診査受診券」が必要です。（5月下旬に市民課が郵送しています）
- 75歳以上の後期高齢者健診は集団健診でも受けることができます。その際は、「後期高齢者健康診査受診票」が必要です。（7月上旬に広域連合が郵送しています）
- 国保加入者の特定健診は、12月まで田川市郡内の協力医療機関でも受けられます。

●個人情報の取り扱いについて

田川市では、受診者の病気の予防や早期発見・早期治療のため、関係機関と健診結果などの情報提供、情報交換を行いますので、申し込みにあたっては以上のことを同意した上で申し込みください。なお本市においても、関係機関においても個人のプライバシーは確実に守ります。また、知り得た情報をその目的以外に使用することはありません。